

深谷の取り組み

地方創生

地域の魅力発信 ～市内の店舗も観光資源に!～

市民と共に市内の店舗などを観光資源として磨き上げ、市外からの観光客を呼び込みます。また、市内の偉人を生かしたイベントなどで地域の魅力を高めます。

🎧 深谷商店街発で地元の魅力発信!

昨年の『深谷〇(えん)旅』では、商店街のお店をめぐるプログラムを企画し、市内外からたくさんの人に参加していただきました。

これからも、商店街の特色や魅力を存分に生かしたイベントなどを通して、自分たちも楽しみながら、商店街、そして深谷の魅力をどんどん発信していきたいですね。

写真は『深谷〇(えん)旅』などで深谷商店街の魅力を発信する若女将さんたち。左から、岡村淳代さん(カフェ花見)、高木陽子さん(高木本店)、岡部美雪さん(浜岡屋)



企業の育成・支援 ～市内企業の魅力拡大へ!～

市内企業の事業や販路の拡大、就労環境改善の取り組みへの支援を行います。それにより、継続した雇用の確保につなげ、地域経済の活性化を図ります。



▲市企画課 福嶋隆宏主査

🎧 全国初の取り組みで支援!

深谷の『ふるさと納税』の特徴は、お礼品を選ぶため、市内事業者からエントリー商品を募集し、インターネット上の投票で決めること。これは全国初の取り組みです。地域の魅力拡大につなげ、地域における商品開発力や、事業者の売り上げ向上を目指して、市と事業者と共に取り組んでいます。

子育て環境の充実 ～子育てするなら深谷で!～

公立学童保育室の開室時間を延長します。

また、多子世帯の経済的負担軽減のため、今年度は多子世帯向けの商品券支給を行います。



消費者支援と地域経済の活性化を図ります!
プレミアム付き商品券販売

販売日および販売場所

とき	ところ
7月5日(日)	深谷市民文化会館、ふかや市商工会各支所
7月6日(月)以降 ※平日のみ	深谷商工会議所、ふかや市商工会各支所、市内郵便局

問い合わせ 深谷商工会議所(☎571-2145)、
ふかや市商工会(☎584-2325)

販売単位

1セット(12枚つづり・
12,000円分の商品券)を
10,000円で販売
※1人5セットまで購入可能
(売り切れ次第終了)



地方創生

これからも 住み続けたいまちへ



人口減少は、今の日本が直面する大きな課題です。国は今後、人口減少が加速すると予測し、生産年齢人口の減少、それに伴う地域経済などへの影響が懸念されています。

人口減少の問題は、深谷市も例外ではありません。今月号では、人口減少を克服し、将来にわたって活力ある深谷市にするため、国の地方創生の制度や交付金を活用して行う取り組みを紹介します。

人口減少時代の到来

国は人口減少時代を予測しており、生産年齢人口の減少による地域経済の規模縮小や、地域活力の衰退などが懸念されています。深谷市の人口も、2000年の14万6562人をピークに、減少に転じています。

市の人口減少を食い止めるためには、現在住んでいる人に『住み続けたい』と思われるまちになること、そして市外に住んでいる人にも、『住んでみたい』と思われる、選ばれるまちになることが必要です。

その実現には、『しごと』が『ひと』を呼び、『ひと』が『しごと』を呼び込むという好循環を作り出し、その好循環を支える『まち』を盛り上げるのが求められています。

地方創生で

『住み続けたいまち』へ

そこで市では、国が推し進める『地方創生』の制度を活用し、地域経済を支える市内企業の育成・支援や、地域における消費喚起や生活支援策として、プレミアム付き

商品券の販売を行います。

また、学童保育室の開室時間延長など、子育て環境の充実に取り組みます。

さらに、市の魅力を市外に発信し、住んでみたいと思われるまちになるための施策を実施します。

9割を超える

『住み続けたい』の声

平成25年度と26年度に実施した『深谷市民まちづくりアンケート』では、『深谷にずっと住み続けたい』と、自分の家は住み続けたいと回答した人の合計が、2年続けて9割を超えました。

市ではこれまでも人口減少問題の対策として、子育て支援や医療体制の充実、勤労者支援や雇用の創出といった施策を実施していましたが、それと共に、まちづくりを支える市民の力は、多くの人が深谷を『住み続けたい』まちだと思える、大きな力となっています。

これからも、『深谷に住んで良かった』、『これからも住み続けたい』と思えるまちにするために、市民の皆さんと共に、さまざまな施策に取り組んでまいります。